

常任委員・監事合同会議報告



同窓会会報
第67号

平成11年10月5日
発行所 茨城県茨城郡内原町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-0323 TEL.029-259-2811
振替口座 宇都宮3-1632番
印刷所 印刷 双葉

第二十四回同窓会大会案内

十一月三日(水)『文化の日』に開催

平成十一年学園祭最中
会員多数の出席で大会の盛り上げを期待

平成十一年十月二日(上)同窓会館において開催された常任委員・監事合同会議は、前回会議の合意事項に従い、第二十四回大会日程並びに提案事項等を審議決定し、大会に備えた。

十年振りに、提案される会則改正の焦点は、代議員の定数とそれに見合う財政の確保であるが、会員各位の全面的理解と支援に期待する以外道は開かない厳しさである。

第二十四回大会は、次の日程により運営されますのでお知らせしますとともに、会員多数の参加を願っております。同期、近隣の仲間を誘い合せて、是非、お出かけください。

なお、当日は、学園祭も最盛期で、後輩の日頃の努力とその成果がキャンパス一杯に展開され、先輩の来訪を大歓迎の態勢で待ち受けます。二年に一度の大会を契機に新旧交流を親密にして、第二十四回大会と十一年学園祭の成功を切望しながら、会員多数の来園を期待するものであります。

【第二十四回大会日程】

開催日 平成十一年十一月三日(水)『文化の日』
会場 鯉淵学園 第五番教室
受付 十三時～
常任委員会 十六時三十分～

【議題】

- 一 報告事項
 - (1) 平成十・十一年度事業報告
 - (2) 平成十・十一年度決算報告
 - (3) 平成十・十一年度監査報告
 - (4) その他
- 二 協議事項
 - (1) 平成十・十一年度事業並びに監査報告承認について
 - (2) 会則改正について
 - (3) 平成十二・十三年度事業計画並びに予算について
 - (4) その他
- 三 平成十二・十三年度役員選出

【大会運営】

一 大会構成員について
大会は、会則により役員並びに各都道府県支部選出の代議員によって構成されることに決まっていますが、組織未整備のため、従来通り代議員を含む出席者全員を構成員とすることで承認願います。

二 大会出席者報告
大会に出席される会員は、必ず、「はがき」に住所、氏名及び卒期を明記して、十月二十五日(月)までに、事務局必着で二報ください。
また、同窓会館に宿泊を希望する方は、その事も記載してください。

支部・同期の動向

茨城県支部役員会

卒業期別代議員人選 十一月総会に備える

四国四県支部合同同窓会 六戸学園長と福丸会長を迎え松山で開催

会員八〇〇名を突破し、新たに卒業期別代議員制の導入を決めて初の総会招集を目指す茨城県支部では、七月三日の役員会において、別記「卒業期別代議員候補名簿」の通り入選、委嘱の提案があり承認された。代議員制度運営で悩む本部大会の現状打開に有力な手掛かりとして注目される。

また、二回目を迎えた四国地区合同同窓会は、愛媛県支部幹事の下に松山市で開催、別掲「報告」の通り盛大な盛り上がりで終結した。

前報告以降の支部並びに同期会の開催状況は、次の通りである。会議概要として、
◆開催年月日 ◆会場又は開催地 ◆代表者 ◆出席者又は人数 ◆主なる会議内容

茨城県支部役員会

◆平成十二年七月三日(土)

午前十一時～午後四時

◆鯉淵学園 同窓会館

◆支部長 倉重 一夫①

◆出席者名簿(役職、氏名、卒期順)

支部長 倉重 一夫①

副支部長 市野沢 弘⑩

〃 稲川 正夫⑬

監事 本宮 好美⑫

本部委員 須田 哲也⑯ 常任委員

〃 根本 保夫⑳

前支部長 岩持 文彦㉑

◆会議内容 本部委員及び学生進路活動

協力委員候補者並びに卒業

期別代議員入選について次

の通り決定した。

一 平成十二年年度本部委員
常任委員 倉重 一夫①(再任)

〃 真下 寿宜⑪

〃 稲川 正夫⑬

〃 須田 哲也⑯

〃 根本 保夫⑳

〃 〃

二 学生進路活動協力委員候補者

別掲「候補者推薦名簿」の通り。

三 卒業期別代議員候補者名簿

1期 村松 修司 10期 播田 文夫

2期 櫻井 昭利 11期 志賀 陸男

3期 遠山 操 12期 若林 均

4期 西村 典夫 13期 梅崎 孝直

5期 砂田 義雄 14期 浅田 昌男

6期 立原 徳治 15期 丸山 朝由

7期 坪野 敏美 16期 高島 信夫

8期 須崎 智久 17期 内田 貞明

9期 大島 武男 18期 森島 保勝

19期	船橋 和江	28期	鈴木 俊郎	37期	鬼澤 茂	46期	秋葉 勝矢
20期	西野 克己	29期	小沼 和重	38期	中島 佳三	47期	胡桃澤 剛
21期	山本 公徳	30期	横江 和吉	39期	篠原 利一	48期	中橋 友幸
22期	荒野耕一郎	31期	涌井 義郎	40期	工藤 徹郎	49期	飯田 貴之
23期	郡司 悦夫	32期	皆川 幸一	41期	雨谷 秀司	50期	大関 誠
24期	嶋田 下広	33期	村澤 修一	42期	原 慎一	51期	外之内博行
25期	菊池 勝一	34期	高野 恭明	43期	桜井 進	52期	羽生 勝美
26期	鈴木 正明	35期	生駒 和雄	44期	常井 善夫		
27期	鈴木 利通	36期	井野 雄一	45期	篠崎 秀敏		

兵庫県支部総会

◆平成十二年七月十八日(日)

十時三十分～十五時

◆兵庫県農業会館十階会議室及び

◆出席者 三九名 神戸市南京町雅苑酒家

◆会議内容 十年度活動報告、十一年度

活動計画、役員選出

◆講話内容 「鯉淵学園の現況等について」

名譽教授 砂田 義雄先生

◆新役員紹介

顧問 栗山 要①

会長 加藤 信⑤

副会長 加藤 整⑩

会計監事 田中 義治⑬

事務局長 福井 寛行⑯

事務局員 芦田 靖司⑳

幹事

(神戸地区) 近本 恭仁⑭

(阪神地区) 長尾 輝大⑮

(東幡地区) 藤本 敏雄⑯

(東幡地区) 山川 和也⑳

(西幡地区) 富垣 淳生㉑

(但馬地区) 中嶋 則子㉒

(但馬地区) 高木 経吉㉓

(丹波地区) 西田 博㉔

(淡路地区) 出店 利彦㉕

(淡路地区) 大植 勉㉖

四国地区合同同窓会

次回は高知で、二年後

◆平成十二年八月七日(土)

午後五時～八時

◆松山市道後姫塚

「メルパルク」郵便貯金会館

☎〇八九一九四五五六四二

◆代表幹事

愛媛県支部長 岡 一郎⑩

◆派遣員 会長 福丸 博房⑪

◆招待客 学園長 宍戸弘明先生(ご夫妻)

◆会議内容 別掲「報告書」参照。

総会構成員となる卒業期別代議員の委嘱について

茨城県支部長 倉重 一夫

昨年の総会において規約の一部が変更され、総会強化対策として新たに、卒業期別代議員制度が決定されました。

つきましては、七月三日の役員会においてその対応を協議した結果、別記「卒業期別代議員候補者名簿」の通り初代代議員を選、推薦されました。

推薦されました代議員におかれましては、快くお引き受けくださいますと共に、卒業生の皆様におかれましては、代議員へのご協力をお願いいたします。

総会は、二年に一度開催され、今年も総会開催年にあたります。開催日は十一月三日、本部の同窓会入会の前には開催する予定です。

四国地区合同同窓会開催される

去る八月七日(土)松山市道後のメルパルク(郵便貯金会館)に於て、四国地区の合同同窓会を、宍戸学園長ご夫妻、福丸同窓会長のご臨席のもと盛大に開催することができました。

当日は台風の影響もあり出席が心配されましたが、高知県の同窓生二名が水害にあつて欠席した以外予定通りの参加を

得て開催しました。学園長の情勢報告に続き、同窓会長の近況報告があり、和気

あいあいの内に懇親会も進み、最後に全員で祭歌を歌つて解散しました。

参加した三十六名の名簿は次の通りです。○数字は卒期。

尚、次回は平成十四年八月高知市にて開催することが決定された。

文責・愛媛県支部長 岡 一郎



- 徳島県 ①坂本太郎ご夫妻、①渡辺幸男(3名)
 高知県 ⑨松田昇、⑰下村至、⑨渡会武久ご夫妻、⑰東京子、
 ⑳山下秀雄(6名)
 香川県 ⑩宮崎岩美、⑯山上仁、⑯宮武好美、⑱川崎武司、⑳山下和昭、
 ⑳藤沢巖、㉑山花健ご夫妻、㉑林道夫(9名)
 愛媛県 ⑨菊池延次、⑩岡一郎、⑬高岡君夫、⑮白石幸雄、⑰戸田歳明、
 ⑰藤原政夫、⑳岡野幹男、㉑加藤尚、㉑大塚俊秋、㉑西谷博志、
 ㉑上甲修三、㉑堀川章史、㉑山崎公紀、㉑本多忠志、㉑加藤修二、(15名)
 学園長ご夫妻、福丸同窓会長

鯉学農村研究会友の会

◆平成十一年五月二十八日～二十九日

◆長野市 Mウェーブに勢揃い。詳細は、

秋田県・深澤慶吉⑮氏からの別掲「報告」を参照。

鯉学農村研究会

友の会 長野県に集う

今年の「農村研究会友の会」の集いは長野県を会場に、奥様方も含め十三名が集まりました。

期日は五月二十八日～二十九日の二日間。初日は一部の方が午前中

長野市の青果市場を視察し、午後は長野駅で全員集合、善光寺を参拝したあと長野オリンピックで話題となったエムウェーブ

などを見まわりました。夜は湯田中温泉で、懇親の宴を開きました。それに先立ち

この一年の間に逝去された会員の⑭桑野茂さん、⑯青木久良

子さんのお二人の方に黙祷を捧げ在りし日を偲びました。

宴では「これから」について個々の生活や意見を述べあいま

した。営農には時代背景がますます難しくなっていることが営

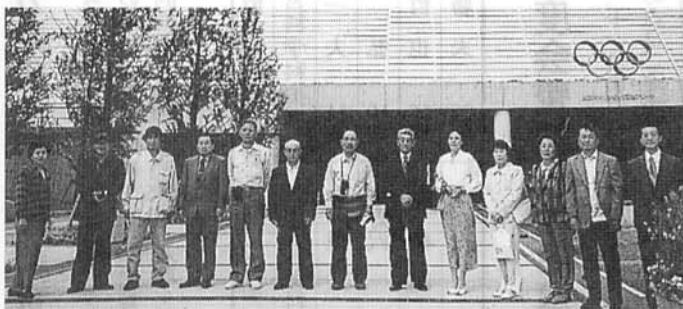
農者から話され、また新たな営農人育成に頑張っている人や、

定年退職して今新たに営農を始めた人や新たな仕事に挑戦して

いる人などさまざまな報告がありました。この会の会長⑭浅田昌男さんからは茨城新聞社がまとめた「二十世紀茨城の群像(この百人が茨城を変えた)」に選ばれたことが報告され大拍手が起きました。(旭村を日本一のメロンの里にしたことが評価され、作家の住井すえ氏や作曲家の吉田正氏らと共に冊子に掲載されました。)

翌日は戸隠の神社で安全祈願すると共に風光を楽しみ、来年は徳島県で集うことを確認し散会しました。

文責 深澤 慶吉



【写真説明・Mウェーブにて】

- 左から加藤夫人(岩手)、⑭岡本孝夫(島根)、⑭加藤謙次(岩手)、
 ⑭板垣常雄(茨城)、⑭福良充男(徳島)、⑭浅田昌男(茨城)、
 ⑮岩淵 齊(岩手)、⑮小嶋 宏(秋田)、小嶋夫人(秋田)、
 深澤夫人(秋田)、岩淵夫人(岩手)、⑭益子駿一(茨城)、
 ⑮深澤慶吉(秋田)

哀悼

北海道支部	佐々木 正 ^③	平成十一年三月 日	逝去
〃	藤岡 幸助 ^②	平成九年 月 日	〃
岩手県支部	千葉 欣一 ^④	平成十一年五月二十四日	〃
福島県支部	桑原 昭 ^③	平成十年一月 日	〃
岡山県支部	池田 朝則 ^②	平成十年十二月 日	〃
〃	藤井 善一 ^③	平成十一年三月 日	〃
山口県支部	志賀 邦雄 ^④	平成九年十二月三日	〃

《協会役員異動》

理事・満永正昭(千葉県④)氏 評議員に就任

五月十六日(日) J R上浦駅南「ダイニング海土浦店」会議室において、急遽、開催された三役等会議は、会長から説明があった協定会款改正に伴う役員人事について了承し、満永正昭^④氏の評議員就任に同意した。

鯉淵学園経営母体である農民教育協会では、各界を取り巻く厳しい今日の諸情勢から、評議員会の充実を図って諸問題解決の鍵とする必要に迫られて検討を重ねて来たところ、六月三日の役員会において正式に決定されたものである。

その結果、学園卒業生では、満永氏と大沼 淳(東京都④・文化学園理事長)氏が評議員に就任、福丸会長は引き続き理事に留まり、今後の活躍が期待される。

五月十六日(日)の三役会議出席者は、次の五名である。

- 会 長 福丸博房 埼玉県^⑨
- 副会長 高橋隆三 茨城県^⑨
- 副会長 吉川昭雄 茨城県^⑪(常任委員長)
- 協合理事 満永正昭 千葉県^④(現協会評議員)
- 事務局長 岩持文彦 茨城県^⑦

学生進路活動協力委員候補者推薦書受理報告

七月四日付け茨城県支部長からの推薦を受けて、次の名簿の方々を委員候補者として学園長に内申しました。以上の結果、これまでに十三支部の委員が決まりました。未推薦の支部は、本事業の効果的推進を目指して、至急、人選くださるようお願い申し上げます。

茨城県	学生進路活動協力委員候補者名簿(追加)			
	支部名	農業経営科学科担当	生活栄養科学科担当	
茨城県	倉重 一夫	11期	倉重 一夫	11期
	市野沢 弘	10期	市野沢 弘	10期
	須田 哲也	16期	船橋 和江	19期
	西村 勝夫	22期		

平成十・十一年度会費納入者名簿【報告】

平成十一年五月一日から七月三十一日までの払込通知受理分。確認と領収証書代わりの報告です。間違い、ご不審の点はご連絡願います。

また、領収証書が必要とする場合はご請求ください。○数字は卒期、括弧数字は通信過程卒期です。

氏名末尾の◎印は、会費寄付です。ありがとうございました。

◎年度会費

- 【北海道】 二七名 (5) 矢 矧 儀 一
- 【茨城県】 ② 奥村 芳一 ② 黒田 要
- ④ 荒川 祐一 ② 黒田 要◎
- (5) 花田 弥作◎
- 【千葉県】 ② 黒田 要◎
- 【岩手県】 ⑤ 松家 昇
- ⑬ 留場 栄一 ⑮ 松家 昇◎
- ⑬ 平田 正
- 【東京都】 ⑩ 角田 公久
- 【秋田県】 ⑭ 西田 貞夫
- 【神奈川県】 ③ 奥田 平二
- ⑤ 黒石 勇蔵◎
- (3) 本間 秀夫
- 【福井県】 ⑭ 藤田 富子
- 【兵庫県】 ③ 鎌田 辰三
- ⑮ 田中 智巳◎
- ⑯ 田中 智巳◎
- ⑰ 田中 智巳◎
- ⑱ 田中 智巳◎



- ②③ 橋口晴喜
 【佐賀県】
 ⑭ 福良充雄
 【徳島県】
 ②⑤ 大内のり子
 【福島県】
 ◎終身会費 三名
 ②② 黒田要
 【茨城県】
 ◎八・九年度分 一名
 ③⑩ 山城政美
 【沖縄県】
 (1) 御手洗林平
 【大分県】
 ②⑩ 安達雅晴
 【熊本県】
 ②⑤ 大塚俊秋
 【愛媛県】
 ①⑥ 宮武好美
 【香川県】
 ⑭ 柄崎紀雄
 ⑫ 桑原謹二
 ②④ 岡本幹雄
 【広島県】

加藤成一さんの手紙（前号の続き）

4) 研修所：研修所は2か所あります。

1つは普及局、もう1つは農業試験場です。研修の対象は農業改良普及員と農家です。2か月に1回5日間のコースです。私も講師として講義を持ちます。1講座約3時間です。「技術普及論」「野菜経営」「農民組織育成」等を受持ちます。「野菜栽培」についてはカウンターパートがやります。私の問題はやはり言葉です。バラグアイに来た当時は通訳を頼んでやりましたが、これだと時間が2倍かかります。最近では通訳無しです。それには、先ず、講義内容の説明文を日本語で作し、スペイン語に翻訳します。事前にカウンターパートに講義し、理解してもらい、訳文が分かるように修正してもらいます。そして何回も読む練習をし、当日に臨みます。最低1週間は準備にかかります。当日、OHPでポイントを書いたもの（スペイン語の要約）を写しながら説明文を読みます。「分かりましたか」と確認しながら進めます。「分かりません」と言われた時はカウンターパートが補足説明をします。困るのは質問があった時です。カウンターパートが私に分かるような易しいスペイン語で取り次いでくれます。私は、スペイン語と英語を混ぜながら答えます。後は、カウンターパートが分かるように答えてくれます。正確に伝わったかどうか分かりません。かなり彼らの考えも折り込まれていると思われませんが、任せる他はありません。事前のレクチャー次第です。

絵は非常に力を発揮します。マンガが書けるかどうかは重要なコミュニケーション能力ですし、また、スライド、ビデオの活用はとても効果があります。

2 週末・祝日の過ごし方

土・日は完全に休みです。またこの国の祝日は10日（振替休日制度無し）あります。（日本は15日＋年末・年始それに振替休日制度有り）

バラグアイの人達の休日は、本当に何もしません。1日中家にいて、家族でお茶を飲んで、お話しを楽しんで過ごします。ですから、誰か人が尋ねて来ると、大歓迎です。テレレやマテ茶を廻し飲みします。道行く人をジーと見ているのが大好きです。ラジオを聞いたり、金持ちはテレビを見たりして話題を作ります。日本人のようにアチコチに出かけません。

日曜日は教会に家族で出かけます。そして、特に、祝日は宗教的行事のある日が多く、家族や親戚を訪問します。家族間の交流が活発です。

ですから、娯楽産業は発達しません。唯一、サッカーの試合を見るのが熱狂的な娯楽です。

一方、日系人や日本人専門家の週末は忙しいです。日本人祭り、運動会、ソフトボール大会、ゴルフコンペ等々すぐ行事で土・日を埋めます。どうして、こうも落ちつかないのでしょうか？ほんとに。「何もしない」ということに耐えられないのでしょうか。

私は極力、何もしない（出歩かない）事に徹しようと努めていますが、妻からの要求も受け入れないと、外国生活はうまく行きませんので、お付き合いの範囲で出かけます。

土曜日：朝、朝市（日系人の作る野菜の）への買い物に時として同行。同行しない時は、犬の散歩に行きます。そして、居間でコーヒーを飲みながらCD（都はるみや藤あや子）を聞きます。日本の歌は心とみます。昼、昼寝。午後、夏は家のプールに入ります。時にはマッサーに行きます。夜、夕食にビールを飲んで、早く寝ます。こうして精神的にゆっくりします。

日曜日：朝、ゆっくり起きます。溜まっている新聞（朝日国際版）等を読みます。日本への手紙を書きます。そして、時には、ゴルフの打ちっぱなしに行き汗を流します。昼、昼寝をします。午後、ショッピングモールに出かけて、買い物、喫茶にお付き合いします。夕方、運動公園に行き、犬と軽いランニングまたは散歩をします。こうして体をほぐします。夜、質素な夕食を取って、スペイン語の宿題をします。

次号に続く